

2023年10月27日  
CEO 樽谷 典洋

## dentsu Japan クリエーティブ CEO の佐々木康晴、 電通グループのグローバル・チーフ・クリエイティブ・オフィサーに就任

dentsu Japan（ブランド：「dentsu Japan」、拠点：東京都港区、代表者：CEO 樽谷 典洋）は、dentsu Japan クリエーティブ CEO である佐々木康晴が、グローバル全体の事業を統括する電通グループ（ブランド：「dentsu」、本社：株式会社電通グループ、拠点：東京都港区、代表者：代表執行役社長 CEO 五十嵐 博）のグローバル・チーフ・クリエイティブ・オフィサーに就任したことをお知らせします。

日本、米州、EMEA、APACの世界4事業地域を統括する電通グループでは、One dentsuとして成長戦略の加速と真にクライアント中心（クライアント・セントリック）な組織変革を推進するため、各4事業地域を直接統括する、グループ・マネジメント・チーム<sup>\*1</sup>の再編成を進めています。

佐々木は2023年より、dentsu Japan クリエーティブ CEOとして同チームに参画していましたが、この度、グローバル全体のdentsuのクリエイティブ領域を包括的に統括する「グローバル・チーフ・クリエイティブ・オフィサー」に就任します。佐々木は、全てのプラクティス<sup>\*2</sup>領域を横断して、クリエイティブのケイパビリティを最大限に引き上げることで、専門的な知見の拡充を図ります。また、Dentsu Creative<sup>\*3</sup>による企業・ブランドへの提案も主導します。さらに、クリエイティブ、プランニング、イノベーション、デザインにおけるグローバルな専門家を育成することで、強力なチームを構築します。これにより佐々木は、dentsuのクリエイティブ・フィロソフィーとカルチャーを強化します。なお佐々木は、現職も継続します。

佐々木は、大学および大学院にてコンピュータサイエンスを専攻した後、株式会社電通にてコピーライターとしてそのキャリアをスタートしました。約30年のキャリアにおいて、クリエイティブとテクノロジーを掛け合わせた新価値創造を追求し、クリエイティブの新潮流を牽引してきました。世界最大のクリエイティブの祭典である「カンヌライオンズ<sup>\*4</sup>」ではCreative Data Lions（2019年）やBrand Experience & Activation Lions（2022年）の審査委員長を務め、D&AD<sup>\*5</sup>やSpikes Asia<sup>\*6</sup>など名だたる広告賞の審査委員長を務めるなど、その実績は世界的に認められています。

新役職	グローバル・チーフ・クリエイティブ・オフィサー
就任	佐々木 康晴（ささき やすはる）
就任日	2023年10月26日
現職	dentsu Japan クリエーティブ CEO

dentsu Japanは今後も、電通グループ（dentsu）の推進するOne dentsuを力強く支援し、顧客企業の事業成長に貢献していきます。

※1：グループ・マネジメント（・チーム）とは、五十嵐 社長 CEO をトップとして、執行責任を担う Group Executive Management（グループ・エグゼクティブ・マネジメント）と、Group Management（グループ・マネジメント）により構成され、世界の4事業地域を直接統括しています。

※2：プラクティスとは、dentsu がグローバルで提供するサービスの括りの名称です。

※3：Dentsu Creative は、dentsu のクリエイティブエージェンシーブランドの総称です。

※4：Cannes Lions International Festival of Creativity（カンヌライオンズ 国際クリエイティビティ・フェスティバル）は、規模の大きさ、審査員構成、入賞作品のレベルの高さなどから、数ある国際広告賞の中でも特に高い評価を得ています。

※5：D&AD 賞は、英国に本部を置く非営利団体「D&AD（British Design & Art Direction）」が1962年に創設。その審査基準の高さから、「世界で最も受賞が困難なデザイン・広告賞」と評されています。

※6：Spikes Asia（スパイクス アジア）は、アジア太平洋地域（APAC）における高いクリエイティビティを讃えることを目的に、毎年シンガポールで開催されている地域最大級の広告祭です。

## <経歴>

佐々木 康晴（ささき やすはる）

グローバル・チーフ・クリエイティブ・オフィサー

1995年株式会社電通に入社。コピーライターとして働き、世界中の野山や海で野生動物の姿を撮影する日々を過ごす。その後コンピュータサイエンスのバックグラウンドを活かし、株式会社電通のインタラクティブ・クリエイティブチームの創生メンバーとなる。

電通アメリカ（現 dentsu Americas）ECD（エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター）、株式会社電通第4CRプランニング局長等を経て、2021年に同社執行役員。2023年より dentsu Japan クリエーティブ CEO に就任。クリエイティビティとテクノロジーをかけた新価値創造を追求する。

カンヌライオンズ金賞、D&AD イエローペンシル、CLIO グランプリ等のアワードを多数受賞。2019年カンヌ Creative Data 部門審査委員長、2020年 D&AD Digital 部門審査委員長、2022年カンヌ Brand Experience & Activation 部門審査委員長、2023年 APAC Effie Awards Head of Jury 等を務める。

著書に『アイデアはパスポート：世界で働くクリエイター』（共著）宣伝会議、2015。



以上

## 【リリースに関する問い合わせ先】

dentsu Japan 広報 佐藤、島津

Email : [japan-cc@dentsu-group.com](mailto:japan-cc@dentsu-group.com)

## <dentsu Japan とは>

dentsu Japan は、グローバルに展開する「dentsu」の4事業地域のうち、世界最大のエージェンシーである株式会社電通を擁する日本事業を統括・支援する機能を有すると同時に、日本の事業ブランドを示しています。同ブランドを支える約2万2000名の従業員が、AX（高度化された広告コミュニケーション）、BX（事業全体の変革）、CX（お客さま体験の変革）、DX（マーケティング基盤の変革）のソリューションを統合し、提供価値の最大化を図っています。dentsu Japan は「Integrated Growth Partner」として顧客企業の成長、ひいては社会の持続的発展に貢献していきます。